

# 特集

平成18年度

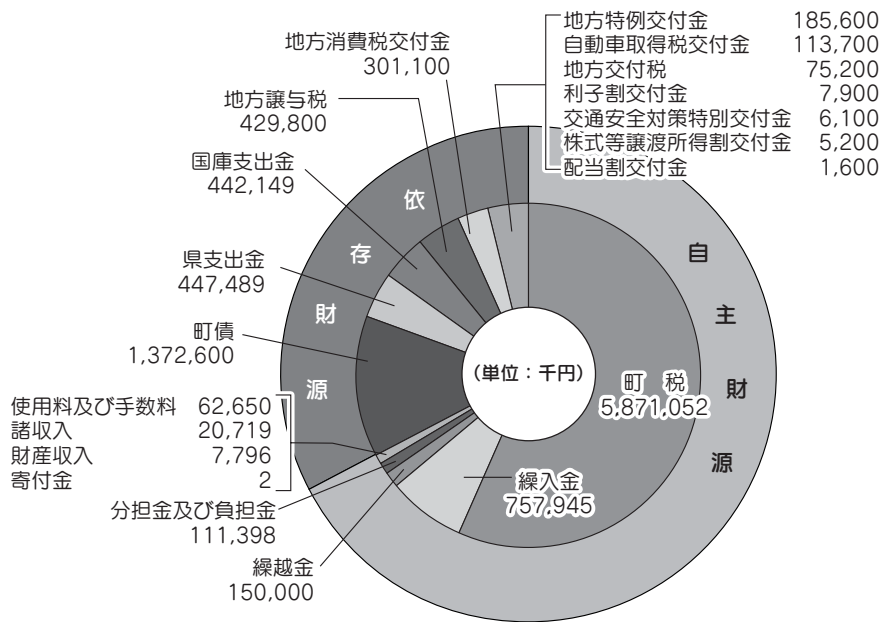
## 町の予算

### 歳入

歳入において自主財源の根幹をなす町税は、町民税の増収見込等により、前年度と比較して2億730万7千円(3・7%)の増となりました。

「三位一体改革」にかかわる国庫支出金は1億8,891万円(29・9%)の減となり、一方で所得譲与税を含む地方譲与税は1億388万円(47・7%)の増となりました。また、目的基金の活用と財源調整のための基金繰入金は2億1,297万3千円(39・1%)の増となりました。

財源別に見ますと、自主財源は町税の増により、69億8,156万2千円(構成比67・3%)前年度比6・7%の増、依存財源は町債の増により33億8,843万8千円(構成比32・7%)前年度比40・2%の増となりました。



### 平成18年度会計別予算案集計表

(単位: 千円、%)

会計別	平成18年度	平成17年度	比較		
			増減額	増減率	
一般会計	10,370,000	8,960,000	1,410,000	15.7	
特別会計	7,931,654	6,980,351	951,303	13.6	
特別会計内訳	国民健康保険事業	2,489,000	2,362,000	127,000	5.4
	老人保健事業	1,724,000	1,759,000	△ 35,000	△ 2.0
	介護保険事業	1,204,000	1,129,000	75,000	6.6
	公共下水道事業	1,161,000	1,172,000	△ 11,000	△ 0.9
	農業集落排水事業	582,000	420,000	162,000	38.6
	用地先行取得事業	771,654	135,004	636,650	471.6
	上三川霊園造成事業	特別会計廃止	3,347	△ 3,347	皆減
計	18,301,654	15,940,351	2,361,303	14.8	

### 水道事業会計

(単位: 千円、%)

種別	年度	平成18年度	平成17年度	比較	
				増減額	増減率
収益的収支	収入	529,907	513,478	16,429	3.2
	支出	479,005	469,362	9,643	2.1
資本的収支	収入	413,992	368,989	45,003	12.2
	支出	604,549	617,631	△ 13,082	△ 2.1



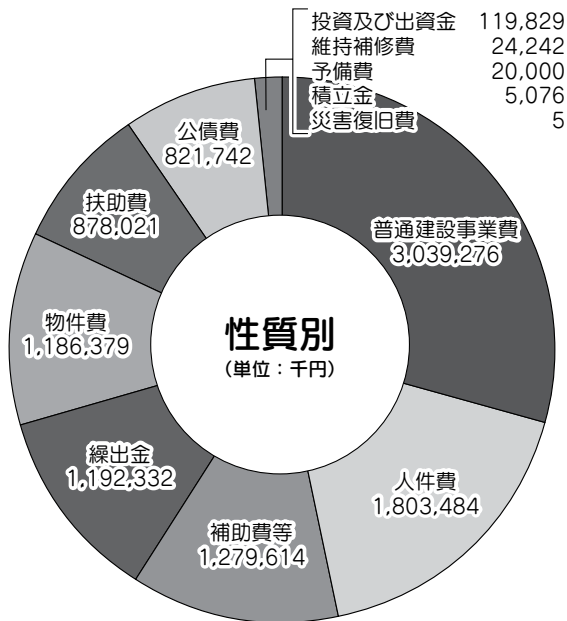
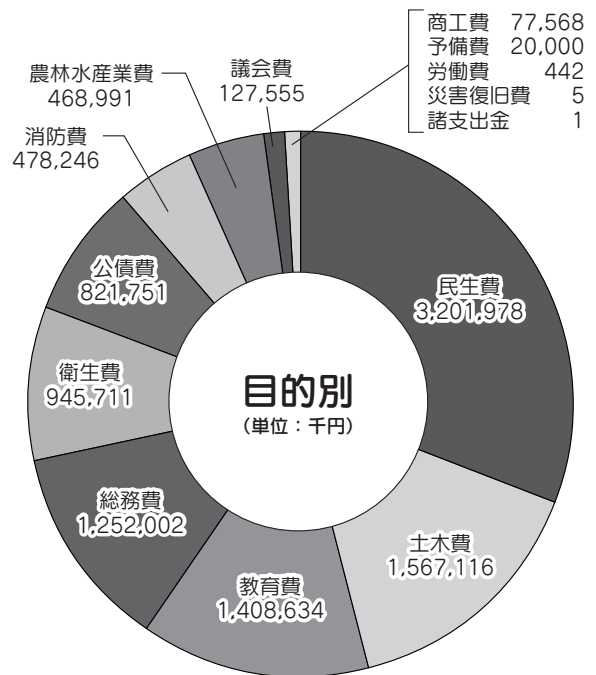
## 平成18年度の主な事務事業

- (1)中心拠点施設整備事業 108,234千円
- (2)(仮称)総合保健福祉センター建設事業 1,286,473千円
- (3)保健福祉対策事業  
(障害者福祉サービス事業、予防接種、各種検診、医療費助成等) 748,033千円
- (4)小学校・中学校施設整備事業 250,139千円
- (5)上水道事業(第6次拡張計画) 119,829千円
- (6)下水道事業(公共下水道、特定環境) 577,445千円
- (7)農業振興事業  
(パワーアップ推進事業、園芸産地対策、土地利用型経営体育成事業、新農業水利システム保全対策事業) 25,757千円
- (8)農業集落排水整備事業  
(東部地区、南部地区等) 477,402千円
- (9)道路整備事業  
(道路改良、道路維持、交通安全施設等) 428,020千円
- (10)市街地整備事業  
(富士山地区、願成寺地区等) 284,465千円

## 歳出

歳出を性質別に見ますと、人件費は前年度と比較して1億572万3千円(5.5%)の減となりました。一方普通建設事業費は、(仮称)総合保健福祉センター建設関係事業及び道路整備事業の増により、13億2,491万円(77.3%)の増となりました。

なお、本年度も引き続き経常経費の削減に努め、限られた財源の重点的かつ効率的な予算配分をしました。



## < 用語説明 >

- 自主財源** 町が自主的に収入するもの。
- 依存財源** 国や県の基準等によって交付されたり割り当てられたりするもの。
- 目的別歳出** 経費を行政目的別、つまり仕事の内容によって分類したもの。
- 性質別歳出** 経費を経済的性質によって分類したもの。
- 物件費** 消耗品費や委託料など、他の性質に属さない消費的な経費。
- 扶助費** 各種医療費助成や児童手当などとして支払われる経費。
- 公債費** 町が借り入れた元金及び利子の償還のための経費。

▼問い合わせ先=企画課 財政係  
☎ 9119